

| 広徳寺 . . .

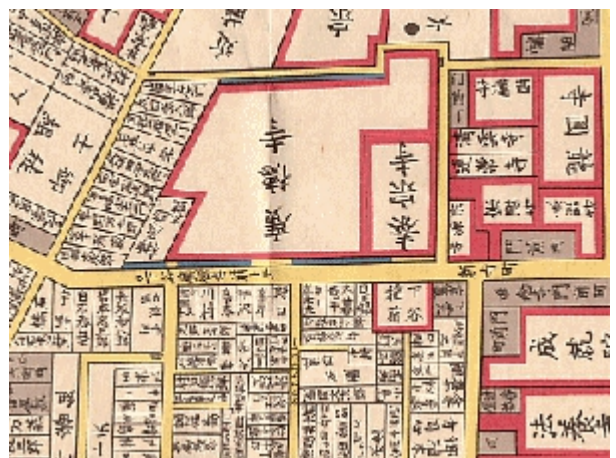
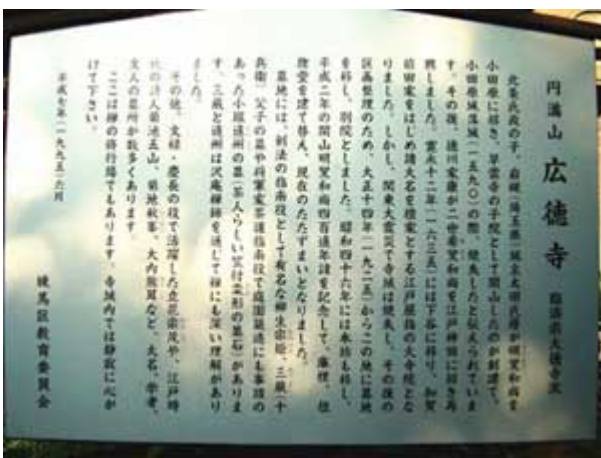


柳生十兵衛と聞いて、皆さんはどんなことを思い起こされますか？

遠くは「立川文庫」から、映画「柳生一族の陰謀」、または昨年NHKで放映された「十兵衛七番勝負」でしょうか。いずれにしても大変な剣客で、実際、彼の弟子に、鍵屋辻の仇討ちで知られる荒木又右衛門がいますから、ヒーローものにありがちな脚色三昧の人物ではなかったようです。

さて、この柳生十兵衛のお墓が、広徳寺にあります。右上の写真です。

広徳寺は、山号を円満山といい、臨済宗大徳寺派の寺です。創立は1571年、北条氏政の子で、岩槻の城主太田氏房が、明叟（みょうそう）和尚を小田原に招いて開いたと伝えられています。その後、豊臣秀吉による小田原落城の折りに焼失。江戸神田昌平橋に再興、更に下谷に移転といった遍歴を経ています。この時が最も栄えた時代で、「ビックリ下谷の広徳寺」と俚諺（りげん）にあったそうですし、当時の絵図を見ますと、上野寛永寺に双肩する広大な寺領を持っていました。実際、加賀百万石の前田家を初め、諸大名を檀家とした江戸屈指の名刹であったわけです。それがため、本堂裏手の墓所に行きますと、松浦（平戸藩）、蜂須賀（阿波藩）、松平（会津藩）、織田（柏原藩）など、近世の大名二十余家の巨大な墓石が林立しています。そのうちの1つが柳生但馬守一族ということです。



しかし、関東大震災で寺域の全てが焼失し、1925年にまず墓所を、その後1978年に全てがこの桜台の地に移転完了され、現在に至っています。石神井川に沿った高台で、眺望もよく、ナラやケヤキを初め樹木がよく茂り、とりわけ紅葉は美しく、禅寺にふさわしい静寂に包まれています。墓地を含めた境内は2万坪で、都内最大級の広さを誇っています。ちなみ

に、浅草寺が3万坪、芝増上寺は1万6千坪ですから、かなりの規模であることが分かります。境内も墓地も基本的には拝観謝絶となっていますが、個人的にお願いすれば許可していただけます。是非一度お出かけになってみませんか。